

令和6年度 第3回社会教育委員の会議 会議録

日 時:令和6年12月19日(木)18:58~20:06

場 所:学びの里「めいりん」ランチルーム

出席者 委員7名(別添名簿のとおり)、事務局2名

○教育理念唱和

1 開会あいさつ(委員長)

本日、和泉スキー場へ約30年ぶりのスキーへ行ってきた。大野は1年のうち四分の一が冬であり、何もしないのはもったいないと思い一念発起した。

委員の皆様には忌憚のないご意見を願います。

2 議 題

(1) 生涯学習に関する会議体について

第2回の会議において、社会教育委員の会議と生涯学習推進会議を整理できないかとのことで説明し委員から意見をいただいた。

教育委員会事務局内で検討してきたが、人口減少が進む中さまざまな役職のなり手不足が地域の課題として取り上げられていることや、複数の会議に同じ方が選出され負担が集中していることなどを鑑みて、やはり二つの会議を統合することが望ましいと考える。

また、県内他市の状況では生涯学習推進会議といった会議体はない。福井県も同様の会議があったが数年前に廃止している。

先日、生涯学習推進会議においても本件についての議論を行った上で、統合することに関しては同意をいただいたところである。

本日は、社会教育委員のみなさまにご意見をいただいた上で、同意いただきたい。

なお、統合の方法としては、生涯学習推進会議の現委員の任期が満了となる令和7年5月末日をもって統合することとし、生涯学習推進会議は廃止、その所掌事務は社会教育委員の会議で取り組むこととする。なお、社会教育委員は定員9名のところ現在8名となっているため、統合の際には9名となるよう任命する。

【委員からの意見】

- ・人口見込では2050年には大野、勝山市あわせて30,000人を割り込むことが予想されている。もしかしたらさらに早くなるのではないか。これまでどおりのやり方をただ踏襲するのではなく、先を見据えてやっていかなければならない。
- ・選出元の団体へも市から20~30の充て職選出の依頼があり、皆が負担を感じている。
- ・両会議の所掌事務は少し違う部分があるのではないか。また単純に考えれば残る会議の方に負担が増えると思う。しっかりと整理してほしい。
- ・両方の会議に参加させていただいていた。減らすのも致し方ないと思う。
- ・統合して何を残すのかを議論してからでも良いのではないか。
- ・誰のためにやるのかを見つめなおすことも必要。委員の選出について、充て職の方ばかりではなく、新しい視点が必要だと思う。

・会議体の統合に賛成する。生涯学習フォーラムでは毎年、社会教育功労者の表彰をしている。これを思えば、すでに部分的には統合してやったきたと感じている。選出団体としても1人減るのはありがたいと感じる。

上記の意見が述べられた後、委員長により本件に関して委員への賛成の有無が問われ、出席者全員一致で同意することが確認された。

☆令和6年度生涯学習フォーラム

開催日 令和7年2月16日(日) 午後1時30分～

会場 学びの里「めいりん」講堂

3 報告

・福井県社会教育委員連絡協議会リーダー研修会について

開催日 令和6年11月18日(月)

会場 上志比文化会館 サンサンホール

参加者 各市町から51名

本市委員会からは佐々木委員長、事務局の2名が参加した。

当日は講演の後、グループに分かれての話しあいがあった。事務局が参加したグループの記録を参考に添付する。

なお、下記のとおり令和7年度は本市が開催地となるため協力を願う。

☆令和7年度は大野市会場 → 候補日：令和7年8月5日(火)

4 その他

5 閉会あいさつ(副委員長)

会議体の件は方向性が決まった。委員からの意見については整理していただきたい。社会教育委員の任務については幅が広く、つかみどころがないと感じている。

以上